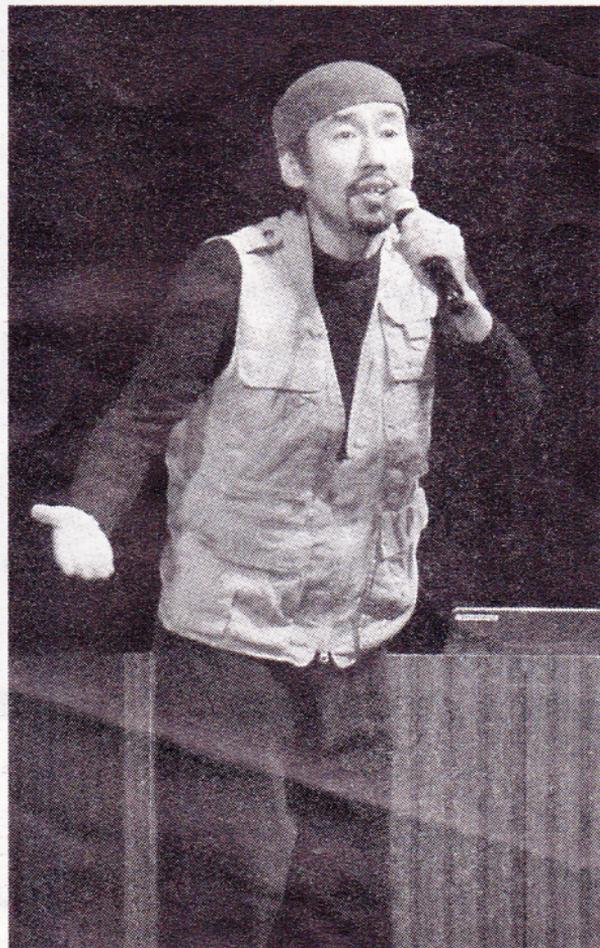


取材現場で感じた「絆」

福祉とくらし
のセミナー 渡部さん（戦場カメラマン）が講演

富士地域労働者福祉協議会など主催の「福祉とくらしのセミナー」



が15日、ロゼシアターで開かれた。富士市出身の戦場カメラマン渡部陽一さん（39）が「家族の絆―世界100カ国以上の家族と過ごした時間」と題して講演した。

講演の中で渡部さんは、明治学院大学時代にアフリカに生息するチンパンジーやトワ族に興味を持ち、アフリカのジャングルを訪れた際、ルワンダ内戦に巻き込まれたことが戦場カメラマンとなるきっかけとなったことを明

身振り手振りで講演する渡部さん

かした、

また、コンゴ紛争やパレスチナ内戦、チェチェン紛争、イラク戦争など世界の戦場で出会った子供たちの姿を撮影した数々の写真を紹介。「なぜ戦争が起きるか」「そこに暮らす子供たちが何を食べているか」の疑問や着る物、寝る場所、戦場に生きる子供たちの声など、取材現場で感じたことを語った。

質疑応答コーナーでは、家族や富士市に住んでいた学校時代のこと、テレビ出演時のエピソードなどさまざまに質問に答えた。